

## 年譜

年	年齢	
1954		8月6日、滋賀県大津市に生まれる。4～12歳、幼稚園から小学生の間、昆虫、魚、鳥など、さまざまな生き物にふれて過ごす。ハサミの切り絵に目覚めたのは4歳のころで小学生時代熱中する。父に『原色日本蝶類図鑑』『原色日本野鳥図鑑』を買ってもらい、本を枕にして過ごす日々。
1971	17	中学から高校にかけては、陸上競技部に入り練習の日々。一方、休みを利用してユースホステルに泊まりながら日本全国を旅し昆虫採集をする。『アサヒカメラ』に連載されていた佐々木崑の「小さい生命」を見て、写真の表現力に感動する。父親のカメラ、ニコマートを借りて、はじめて写真を撮る。田淵行男の写真集『高山蝶』に出会う。
1972	18	県立石山高校卒業。近畿大学理工学部土木工学科入学。在学中より、沖縄本島、八重山郡島に定期的に通い、長期滞在し、イリオモテキマダラセセリの食草解明などに関与する。全国を旅して収集したチョウの標本をすべてコレクターに売り、その資金でマレーシア、インドネシアへの旅にでる。このときカメラ1台、レンズ2本、フィルム10本を持参。マレーシア、インドネシアは、以後、数十回にわたり取材することになる。
1973	19	東南アジアから帰国後、比叡山の東麓に位置する大津市仰木の棚田に出会い、カメラを持って通いだす。
1976	22	自然写真というジャンルを知り、卒業後はプロの写真家になることを決意。アサヒペンタックス67を中古で買う。以後、この67シリーズは、30年以上愛用するカメラとなる。
1978	24	阪口浩平（昆虫学者）と出会い、『図説世界の昆虫』（全6巻）の制作助手となる。2年半の間、阪口宅に通い、文献の整理から標本の制作まで、出版に関わるすべての事柄を担当する。
1980	25	初の作品集となる『みつばち』を出版。これを期にフリーランスとしての活動を開始する。
1983	28	スカラベの取材のためケニアへ。スカラベの取材は、これ以降、毎年3カ月ずつ8年間、延べ日数2年をかけた長期取材となる。ヘラクレスオオカブトの取材で、コロンビアへ4カ月の旅に出る。この旅でヘラクレスオオカブトの飛翔の撮影にも成功。
1986	31	結婚。
1987	32	アマゾン川取材のためブラジル、ペルーへ4カ月の旅に出る。以後、南米を数回にわたり取材。2度目の取材では、アマゾン川河口から上流までを船で踏破した。
1988	33	『今森光彦 昆虫記』刊行。土地に息づく生命、生態系を描きたいという思いで自宅があった大津市周辺でおこなったフィールドワークをまとめたもので、身近な昆虫の生態をあますところなく見せた画期的な写真集として話題となる。西アフリカ取材。60年に一度と言われる大規模なサバクワタリバッタの大発生撮影に成功。



小学3年生頃。魚、昆虫、野鳥と過ごす日々。



インドネシア、スラウェシ島の民家ステイ。1974年。



コロンビア領のアマゾン川上流にて。1983年。



朝昼晩を問わず、写真撮影の毎日。1985年。

1989 34 アリと植物の共生を描いた〈南米のアリ植物〉で第6回アニマ賞受賞。インドネシアを取材。ラフレシアの開花を連続撮影し、受粉のメカニズムをとらえることに成功する。このレポートは、ドイツの『Geo』、フランスの『Terre Sauvage』、イタリアの『Airone』など、さまざまなグラフィックで紹介される。ファーブルの足跡をたどるためにフランスを取材。以後数回の取材を重ねる。



フランス、ファーブル取材。写真左が今森、右がイヴ・ドランジュ氏。1989年。



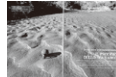
スマトラ島でのラフレシア取材。ジャングルの中で現地の人々とともにキャンプをする。



ドイツの『Geo』(Geo)にラフレシア取材レポートが掲載された。1989年。



受粉のメカニズムの撮影方は、世界中で話題となる。1989年。



スカラベ取材のレポートが、イタリアの『アエロネ (Airone)』に掲載される。1989年。



インドネシア、モルッカ諸島を取材。民家ステイの様子。1990年。



写真家佐々木崑氏は、度々今森の家を訪問した。1990年。

1992 37 「里山」という言葉のやわらかさに惚れこみ、タイトルとして使うことを決心、里山を「生物と人とが共存する日本古来の農業環境」と定義する。『マザー・ネイチャーズ』夏号 1992年(新潮社)に「里山物語」を発表。それまで、学者の間で使われていた里山は、造語として薪炭林の意味をもっていたが、これを機に「共存」をキーワードにした空間概念として生まれ変わる。以降、里山という言葉は、身近な自然の代名詞となり急速に普及してゆく。「里山」シリーズの連載は、『SINRA』2000年7月の休刊までつづいた。ソニーのハイビジョンカメラでマレーシアの熱帯雨林を撮影ロケする。長女誕生。

1993 38 イギリスBBC放送「The Private Life of Plants」のロケに参加。今森自身もフィルム動画を撮影。サー・デイビッド・アッテンボローに出会う。

1994 39 『スカラベ』で、第10回東川賞・新人作家賞受賞。38カ国に延べ80数回渡航して撮影した昆虫写真の記録『世界昆虫記』刊行。

1995 40 『世界昆虫記』、『里山物語』(『SINRA』)で、第20回木村伊兵衛写真賞受賞。『世界昆虫記』で、第48回毎日出版文化賞、第42回産経児童出版文化賞・大賞受賞。写真展「木村伊兵衛写真賞受賞作品展 世界昆虫記」をミノルタフォトスペース新宿にて開催。写真集『里山物語』刊行。人と自然の関わりに目を向けた映像が話題を呼ぶ。『里山物語』を詩情豊かな動画にするというアイデアが生まれ、親交の深かったNHKディレクターと議論をかわす日々がつづく。台湾からインドネシアを集中取材。2年間に10回の渡航を繰り返す。この頃、小学校時代に熱中した切り絵を再開。次女誕生。



インドネシア、イリアンジャヤを取材。写真右が今森。左は、西山保典氏。1991年。



里山物語の連載がはじまる。「マザーネイチャーズ」1992年。



サー・デイビッドアッテンボロー氏の自宅に招かれる。写真左が今森。1994年。

1996 41 琵琶湖博物館開館記念展「里山—生命の小宇宙」開催。はじめてのエッセイ集『里山の少年』刊行。『里山物語』の世界をハイビジョンで描く、NHKの「里山」シリーズのロケがはじまり、以後、多くの番組に撮影監督として参画。NHK「ふるさと自然発見」のシリーズが1998年まで6回放映される。ブルーレイク賞受賞。第9回大津市文化特別賞受賞。第9回秀明文化賞受賞。皇居の森の取材をはじめ。皇居の取材は2年間にわたり続く。



オーストラリア、アボリジニの家族を取材。1994年。

- 1997 42 クヌギの古木を守るべく滋賀県マキノ町に荒れていた2ヘクタールの雑木林を購入、里山林として管理をはじめ。クヌギの古木を「やまおやじ」と呼び、その雑木林を「萌木の国」と名付ける。東京都写真美術館企画展「ネイチャーワールド地球に生きる22人展」に参加。写真展「スカラベの神話」を入江泰吉記念奈良市写真美術館にて開催。琵琶湖水系に目を向けるきっかけとなった二人の漁師、田中三五郎と福沢常一に出会う。
- 1998 43 221年に一度の大スベクタクル、17年ゼミと13年ゼミの同時発生の撮影に成功。フィンランド、ヘルシンキで日本代表のゲスト写真家としてスライド講演「SATOYAMA」を開催。写真展「里山物語」をいわむらかずお絵本の丘美術館（栃木県馬頭町＝現・那珂川町）にて開催。NHKハイビジョン「里山の四季」シリーズが4回、またNHKハイビジョンスペシャル「里山・人と自然がともに生きる」が放映される。
- 1999 44 NHKスペシャル「映像詩 里山 覚えていますか ふるさとの風景」が放映される。この番組は、日本だけでなく世界各国で放映され、日本の里山を世界に広く知らしめる。写真展「Life on Natural Garden 生命の庭園」をペンタックスフォーラム（新宿）にて開催。写真展「里山物語」をワコール銀座アートスペースにて開催。写真展「大自然と小さな生命の旅」をハヶ岳小さな絵本美術館（長野県原村）にて開催。「里山ジャンボリー」を企画立案。滋賀県新旭町（現・高島市）で参加者とともに自然とふれあい、また、絵本・童話作家を中心としたゲストとの対談をおこなう。
- 2000 45 写真展「里山」をペンタックスフォーラム（新宿）にて開催。記録映画「今森光彦の里山物語」の全国巡回上映がはじまる（～2003年）。「里山から考える21世紀」のプロジェクトがはじまる（～2003年）。「自然とともに生きる」新旭町役場、記念冊子ができる。
- 2001 46 仰本の野仏を調査する「地蔵プロジェクト」を立案。
- 2002 47 「今森光彦の里山塾」を企画立案。参加者に、人と生き物たちがともに暮らす里山の生活を体感してもらい、また地元の人ともふれあう時間をもつ。「全国こども昆虫キャンプ」を企画立案。現在は「今森光彦 里山昆虫教室」として継続。昆虫採集を、日本独自の遊びの文化と位置づけ、マキノ町の雑木林「萌木の国」や仰木にある「光の田圃」で開催。3日間、こどもたちと昆虫観察をして標本作り、アート作品などの制作を行う。「カラー版 里山を歩こう」で、第50回産経児童出版文化賞受賞。写真展「里山物語」をJR大阪セルヴィスギャラリーにて開催。「ダンゴムシ」が全国読書感想文コンクール・課題図書となる。
- 2003 48 第28回滋賀県文化賞受賞。ニコールクラブ審査員となる。ペンタックス・ファミリーフォトコンテスト審査員となる。写真展「里山の道」をA' BOXギャラリー（京都）にて開催。写真展「トンボ」をいわむらかずお絵本の丘美術館にて開催。「ワイルドライフ・世界のトップフォトグラファー」に選ばれる（世界中から40人の写真家）。中国、ハワイ諸島、フィンランドを取材する。
- 2004 49 NHKスペシャル「映像詩 里山 命めぐる水辺」が放映される。「カマキリ」で、第51回産経児童出版文化賞受賞。屋久島を取材。以後屋久島は、数回に渡って取材する。琵琶湖の伝統的な漁法を守る漁師との出会いから取材を重ね、琵琶湖水系に息づく人と生き物の豊かな暮らしをとらえた写真集「湖辺 生命の水系」と写文集「藍い宇宙 琵琶湖水系をめぐる」刊行。



招待作家としてフィンランドで講演をする。写真一番右が今森、1998年。



北欧の里山を描るべくフィンランドを取材。田舎暮らしを体験、1999年。



NHKスペシャル「命めぐる里山」取材。写真右は、三五郎氏、2003年。

2005	50	『湖辺 生命の水系』で、日本写真協会年度賞受賞。文化庁の重要文化的景観選定委員となる。ニッコール国際フォトコンテスト審査員となる。
2006	51	『わたしの庭』で、第52回産経児童出版文化賞受賞。伊勢神宮神域の森の取材をはじめ。はじめて切り絵の絵本『むしのあいうえお』を刊行。
2007	52	写真展「世界の昆虫たち」田淵行男記念館にて開催。はじめての切り絵の原画展をナルニア国（銀座・教文館）にて開催。『おじいちゃんは水のにおいがした』で、第56回小学館児童出版文化賞受賞。写真展「里山 未来におくる美しい自然」を大丸ミュージアムKYOTOにて開催。
2008	53	第1回目のニッポンの里山の取材をはじめ。このシリーズは、以後15年以上つづき、訪れた里山は200箇所を超えている。NHKハイビジョンスペシャル「里山 いのち萌ゆる森 今森光彦と見つめる雑木林」放映。NHKスペシャル「里山 森と人 響き合う命」放映。写真展「里山 未来におくる美しい自然」を大丸ミュージアム東京にて開催。写真展「神さまの森、伊勢」をエブサイト（新宿）にて開催。写真展「昆虫4億年の旅」を東京都写真美術館にて開催。作品展「たのしい切り紙」をクレヨンハウス東京店にて開催。作品展「今森光彦 切り紙展」を青山ブックセンター本店にて開催。
2009	54	劇場版「里山」上映。成安造形大学客員教授就任。『昆虫4億年の旅』で第28回土門拳賞受賞。NHKスペシャル「里山 森と人 響きあう命」放映。写真展「昆虫4億年の旅」を静岡アートギャラリーにて開催。前田真三賞の審査員となる。MIO写真大賞の審査員となる。写真展「昆虫の世界」を船橋アンデルセン公園にて開催。NHK趣味悠々「今森光彦の素敵な切り紙」出演。
2010	55	写真展「地球いきものがたり」をキャノンタワーにて開催。エクソンモービル児童文化賞受賞。写真展「未来におくる美しい自然 里山」を松坂屋名古屋店にて開催。写真展「昆虫4億年の旅」を大丸ミュージアムKYOTOにて開催。NHK総合「今森光彦 ニッポンの里山に行く」放映。写真展「ニッポンの里山」をキャノンギャラリー（銀座、梅田、名古屋）にて開催。写真展「里山」をコニカミノルタプラザギャラリー（新宿）にて開催。NHK BSハイビジョン「今森光彦が見つめたニッポンの里山」シリーズ放映開始。小学館児童出版文化賞の審査員となる。
2011	56	作品展「今森光彦の切り紙美術館 魔法のはさみ」を日本橋三越にて開催。作品展「今森光彦の切り紙美術館 魔法のはさみ」を京都伊勢丹・美術館「えき」KYOTOにて開催。写真展「昆虫4億年の旅」を倉敷市美術館にて開催。
2012	57	作品展「魔法のはさみ 今森光彦の切り紙 美術館」を福岡三越にて開催。作品展「蝶」ノエビア銀座にて開催。写真展「里山」をノエビア銀座にて開催。
2013	58	写真展「里山 未来におくる美しい自然」を福井美術館にて開催。作品展「今森光彦の世界展」を九州芸文館にて開催。写真展「昆虫4億年の旅」を宇都宮美術館にて開催。



4賞・受賞パーティー。写真左から5番目が今森。6番目が妻の真弓。



茂木健一郎氏（写真左）と昆虫採集。「虫の観察は、ほんとうに楽しい」の連発。

2014	59	作品展「今森光彦の世界 Ⅲ 切り紙展『蝶』」をノエビア銀座にて開催。農家として申請をし、憧れていた農地を手に入れる。3ヘクタールの荒れた土地を開墾し農地再生をはじめ。それ以降自らを“環境農家”と呼び活動する。環境農家というのは、今森が考えた造語。
2015	60	地域文化功労者文部科学大臣表彰。京都新聞大賞(平成27年度) 文化芸術賞受賞。作品展「自然と暮らす切り紙の世界」を日本橋三越本店にて開催。作品展「自然と暮らす切り紙の世界」を京都伊勢丹・美術館「えき」にて開催。中村征夫氏との二人展「森と海」をフジフィルムスクウェアにて開催。
2016	61	写真展「森と海 すぐそこの小宇宙」を富士フィルムフォトサロン大阪にて開催。作品展「今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界」を高崎市美術館にて開催。作品展「どうぶつ島たんけん」をノエビア銀座にて開催。写真展「里山」を西武大津店にて開催。NHK BSプレミアム「今森光彦の里山暮らし〜オーストラリアの庭から〜」放映。一般社団法人「めいすいの里山」の里山再生活動がはじまり、監修者となる。
2017	62	写真展「琵琶湖の便り、里山からの贈り物」をGALLERY A4 (ギャラリーエークウッド)にて開催。作品展「楽園の昆虫たち」をノエビア銀座にて開催。作品展「今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界 里山のアトリエで生まれる命たち」を神戸ファッション美術館にて開催。
2018	63	写真展 キヤノンフォトコレクション「地球いきものがたり」をキャノンオープンギャラリーにて開催。写真展「里山 琵琶湖水系を旅する」をリコーイメージングスクエア (大阪・新宿)にて開催。NHK BSプレミアム「オーストラリアの庭 今森光彦 里山の四季を楽しむ」放映。
2019	64	ニューカレドニア取材。写真展「Aurelian Garden オーストラリアの庭」をニコプラザ (新宿・大阪)にて開催。作品展「今森光彦展 写真と切り絵の里山物語」を松屋銀座にて開催。作品展「今森光彦 切絵の世界」を木城えほんの郷にて開催。作品展「今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界」を高梁市成羽美術館にて開催。作品展「今森光彦展 オーストラリアの庭 里山のアトリエから」をあべのハルカス近鉄本店にて開催。
2020	65	写真展「Aurelian Garden オーストラリアの庭」を木城えほんの郷にて開催。NHK ワイルドライフ「今森光彦とめぐる琵琶湖 巨大水系に命があふれる」放映。
2021	66	作品展「自然と暮らす切り紙の世界」を酒田市美術館土門拳記念館にて開催。作品展 今森光彦展「いのちめぐる水のふるさとー写真と切り絵の里山物語」を佐川美術館にて開催。作品展「自然と暮らす切り紙の世界」をバラミタミュージアムにて開催。
2022	67	写真展「今森光彦の時間」をJT生命誌研究館にて開催。NHK趣味の園芸 生き物パラダイス「蝶の舞う楽園をつくりたい」放映。NHKワイルドライフ「自然写真家 野生へのまなごし 今森光彦 みんないのちの輪に生かされている」放映。
2023	68	写真展「今森光彦 里山 水の匂いのするところ」を滋賀県立美術館にて開催。写真展「ジャン・アンリ・ファール生誕200年記念 今森光彦の地球昆虫紀行」をフジフィルムスクウェアにて開催。



荒れていた農地を開墾。里山再生をはじめ。写真右が今森。2015年。



「めいすいの里山」の里山再生がはじまり、監修者となる。2016年。



環境農家の第一歩がはじまった。写真左が今森。右は、長男の元希。2020年。

# Biography

Year    Age

---

1954		Born in Otsu City, Shiga Prefecture, Japan on August 6. Spent his childhood from kindergarten through elementary school (age 4 to 12), fostering an affinity for various animals, including insects, fish, and birds. Started to become engrossed in paper cutting art using scissors at around age 4. His father bought him the <i>Full-Color Illustrated Guide to Butterflies of Japan</i> and <i>Full-Color Illustrated Guide to Birds of Japan</i> , and he read them until falling asleep every day.
1971	17	Belonged to the track and field team and practiced daily while in junior high school and high school. On his days off, traveled all over Japan collecting insects while staying at youth hostels. Saw Kon Sasaki's "Little Lives" series in <i>Asahi Camera magazine</i> , and was impressed by the power of photography. Took his first photograph with his father's camera Nikomat. Encountered Yukio Tabuchi's photobook, <i>The Alpine Butterflies of Japan</i> .
1972	18	Graduated from Ishiyama High School, Shiga Prefecture. Entered the Department of Civil Engineering, Faculty of Science and Engineering, Kindai University. Repeatedly visited Okinawa Main Island and Yaeyama Islands for extended days. Involved in research on host plants of <i>Potanthus juno wilemann</i> . Sold all butterfly specimens he collected while travelling all around Japan to collectors. With the money, he traveled Malaysia and Indonesia, along with a camera, two lenses, and ten film rolls. He revisited Malaysia and Indonesia dozens of times later on.
1973	19	After returning from Southeast Asia, encountered the terraced rice fields of Ogi, Otsu City at the eastern foot of Mt. Hiei, and started visiting there with a camera.
1976	22	Came across nature photography and decided to become a professional photographer after graduating from university. Purchased used Asahi PENTAX 67. The 67 series camera became his favorite for more than 30 years.
1978	24	Met entomologist Kohei Sakaguchi and became his assistant in compiling <i>Insects of the World</i> (six volumes). Worked for two and a half years at Sakaguchi's home, in charge of all publication-related tasks, from organizing resources to making specimens.
1980	25	Published his first book, <i>Honey Bees</i> . Started his career as a freelance photographer.
1983	28	Traveled to Kenya to photograph scarabs. The scarab photographing trips became a long-term project, spending three months per year for eight years total, equivalent to two years and four months of total time. Traveled Colombia for four months to shoot Hercules beetles ( <i>Dynastes hercules</i> ). Succeeded in photographing the flight of the Hercules beetle during this trip.
1986	31	Married.
1987	32	Traveled Brazil and Peru for four months to photograph the Amazon River. Visited South America several times since then. On his second trip, He traveled from the Amazon River's mouth to the upper stream on a boat.
1988	33	Published <i>Days of Insects</i> . The book compiled his fieldwork around his home to depict the lives and ecosystems in the local area, and became topical as a revolutionary photobook that thoroughly illustrates the biology of familiar insects. Photography trip to West Africa. Succeeded in photographing a desert locust ( <i>Schistocerca gregaria</i> ) plague that allegedly occurs every 60 years.

---



---

1989	34	Received the 6th Anima Award for "Myrmecophyte of South America," depicting the symbiosis between ants and plants. Photography trip to Indonesia. Succeeded in continuous shooting of blooming <i>Rafflesia (Rafflesia R.Br.)</i> and capturing its pollination mechanism. This report was published in various pictorial magazines, including <i>Geo</i> in Germany, <i>Terre Sauvage</i> in France, and <i>Airone</i> in Italy. Traveled France to trace the footsteps of Jean-Henri Fabre. Revisited France several times since then.
1990	35	Photography trip to Madagascar. Succeeded in photographing the unknown <i>Xanthopan sphinx</i> moth ( <i>Xanthopan morgani</i> ). Made a second trip to Madagascar in a later year. France's Éditions Gallimard published <i>Days of Insects</i> and became a hot topic. Acquired a 3,000m <sup>2</sup> plot of land in Ogi, Otsu City. Cut down the neglected cypress plantation and planted broadleaf trees. His first son was born.
1991	36	Published photobook <i>Scarab</i> , capturing scarabs and their habitat with natural scenery in the background. Photo exhibition "Scarab: Sacred Beetle that Rolls Dung" at Fuji Photo Salon Tokyo (Ginza). Received the 17th Shiga Prefecture Cultural Achievement Award. Made several photography trips to Australia. On his third trip, stayed in the desert with an Aboriginal family for two months. Established a studio in Ogi. Built a reservoir and organic garden with his family in pursuit of an attractive garden for wildlife.
1992	37	Published <i>Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature</i> in the 1992 Summer issue of <i>Mother Nature's</i> magazine (Shinchosha). Captivated by the softness of the term "satoyama," and used it in the title. Defined <i>satoyama</i> as a "traditional Japanese agricultural environment where people live in harmony with living creatures." This coined term had been used among scholars to refer to wooded areas used for collecting fuels, but was rediscovered as a spatial concept encompassing a key word of "coexistence." The new term "satoyama" has become a synonym for neighboring nature and was rapidly popularized thereafter. The <i>Satoyama</i> series continued until July 2000, when <i>SINRA</i> discontinued publication. Captured the Malaysian rainforest with Sony's high-definition camera. His first daughter was born.
1993	38	Participated in the shooting of "The Private Life of Plants," a BBC program in the U.K. Imamori himself shot moving images on film. Met Sir David Attenborough.
1994	39	Received the New Photographer Award of the 10th Higashikawa Award for <i>Scarab</i> . Published <i>Insects on Earth</i> , a compilation of insect photos taken during more than 80 trips to 38 countries.
1995	40	Received the 20th Kimura Ihei Award for <i>Insects on Earth</i> and <i>Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature</i> . Received the 48th Mainichi Publishing Culture Award and the 42nd Sankei Children's Book Award Grand Prize for <i>Insects on Earth</i> . Photo exhibition "Kimura Ihei Award Winner Exhibition: Insects on Earth" at Minolta Photo Space Shinjuku. Published photobook <i>Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature</i> . The images highlighting the human-nature relationship attracted much attention. An idea of turning <i>Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature</i> into a poetic video arose, and held frequent discussions with his good friend, NHK's director. Intensively traveled areas from Taiwan to Indonesia (ten trips in two years). Resumed the paper cutting art that was his passion in elementary school. His second daughter was born.
1996	41	Photo exhibition "Satoyama: A Microcosm of Life" in commemoration of the opening of the Lake Biwa Museum. Published his first essay collection book, <i>A Boy in Satoyama</i> . Filming for NHK's <i>Satoyama</i> series began, which depicted the world of <i>Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature</i> in high-definition. Started to become involved in many programs as a cinematographer. NHK's <i>Hometown's Nature Discovery</i> series was broadcast six times until 1998. Received the Blue Lake Award. Received the 9th Otsu City Special Cultural Award. Received the 9th Shumei Culture Prize. Began photographing the woods of the Imperial Palace, which lasted for two years.

---

1997	42	<p>Purchased a 2-ha unkempt wooded area in Makino Town, Shiga Prefecture, to conserve an old sawtooth oak tree. Started to manage the land as a satoyama forest.</p> <p>Named the old sawtooth oak "Yama Oyaji (old man of mountain)" and the forest "Moegi no Kuni (The grove land)."</p> <p>Participated in the Tokyo Photographic Art Museum's "22 Photographers Living on Nature World Earth" exhibition.</p> <p>Photo exhibition "The Myth of the Scarab" at the Irie Taikichi Memorial Museum of Photography in Nara City. Meet two fishermen, Tanaka Sangoro and Fukuzawa Tsuneichi, who inspired me to photograph the Lake Biwa system.</p>
1998	43	<p>Succeeded in photographing the co-emergence of the 13-year (Magificada tredecim) and 17-year cicadas (Magificada septendecim)—a once-in-221-year spectacle.</p> <p>Gave a "SATOYAMA" presentation in Helsinki, Finland, as a guest photographer representing Japan.</p> <p>Photo exhibition "A Journey of Nature and Small Life" at the Kazuo Iwamura Picture-Book Hill Museum (Batomachi, currently Nakagawa Town, Tochigi Prefecture).</p> <p>The NHK Hi-Vision Four Seasons in Satoyama series was broadcast four times, and the Hi-Vision special program Satoyama: People and Nature Living Together was broadcast.</p>
1999	44	<p>NHK Special <i>Visual Poetry Satoyama: Remember the Landscape of your Hometown</i> was broadcast in Japan and abroad, widely disseminating Japan's <i>satoyama</i> throughout the world.</p> <p>Photo exhibition "Life on Natural Garden" at the Pentax Forum (Shinjuku).</p> <p>Photo exhibition "Satoyama: In Harmony with Neighboring Nature" at Wacoal Ginza Art Space.</p> <p>Photo exhibition "Mother Nature and Journey of Small Lives" at the Foundation of Picture-Book Museum in Yatsugatake (Hara Village, Nagano Prefecture).</p> <p>Planned "Satoyama Jamboree" in Shin'asahi Town (currently Takashima City), Shiga Prefecture. The event had a talk session with a guest (mainly picture book and children's book authors) each time, and brought participants closer to nature.</p>
2000	45	<p>Photo exhibition "Satoyama" at the Pentax Forum (Shinjuku).</p> <p>Screening tour of the documentary film <i>Mitsuhiro Imamori's Story of Satoyama</i> began in Japan (ended in 2003).</p> <p>Launched the Satoyama21 Project (ended in 2003).</p> <p>Commemorative booklet <i>Living with Nature</i> was made by the town office of Shin'asahi.</p>
2001	46	<p>Planned the Jizo Project to survey the roadside Jizo statues in Ogi.</p>
2002	47	<p>Planned Mitsuhiro Imamori Satoyama School, in which participants experienced life in satoyama, where people and wildlife live together, while also interacting with locals.</p> <p>Planned the Japan Kids Insect Camp, which is now renamed the Mitsuhiro Imamori Satoyama Insect Workshop. Considering insect collecting as a unique cultural leisure activity of Japan, it takes place in "The grove land" in Makino Town and "Hikari no Den'en (Fields of Lights)" in Ogi. Participating children spent three days observing insects, making specimens, and creating art works.</p> <p>Received the 50th Sankei Children's Book Award for <i>Let's Walk in Satoyama (color edition)</i>.</p> <p>Photo exhibition "Story of Satoyama" at JR Osaka Service Gallery.</p> <p><i>Pill bug</i> was in the list of assigned books for the National Book Report Contest.</p>
2003	48	<p>Received the 28th Shiga Prefecture Cultural Lifetime Achievement Award.</p> <p>Became a judge of the Nikkor Club.</p> <p>Became a judge for the Pentax Family Photo Contest.</p> <p>Photo exhibition "Paths in Satoyama" at A'BOX Gallery (Kyoto).</p> <p>Photo exhibition "Dragonflies" at Kazuo Iwamura Picture-Book Hill Museum.</p> <p>Selected in <i>The World's Top Photographers and the Stories Behind Their Greatest Images: Wildlife</i> (40 photographers worldwide).</p> <p>Photography trips to China, Hawaiian Islands, and Finland.</p>
2004	49	<p>NHK Special <i>Visual Poetry Satoyama: The Life Cycle in the Waterfront</i> was broadcast.</p> <p>Received the 51st Sankei Children's Book Award for <i>Praying Mantis</i>.</p> <p>Photography trip to Yakushima Island. Revisited several times since then.</p> <p>Published the photobook <i>Mizube</i>, and the photographic essay <i>Watersphere Touches Indigo Infinity</i>.</p> <p>Repeatedly visited Lake Biwa after encountering the fishermen who follow the lake's traditional fishing methods, and captured the rich lives of people and creatures in the Lake Biwa water system.</p>



Year	Age	
2005	50	Received the Photographic Society of Japan Annual Award for <i>Mizube</i> . Became a member of the Important Cultural Landscape Selection Committee of the Agency for Cultural Affairs. Became a judge of the Nikkor International Photo Contest.
2006	51	Received the 52nd Sankei Children's Book Award for <i>My Garden</i> . Started photographing the Ise Jingu Shrine precincts forest. Published his first cutting paper art book, <i>Mushi no Aiueo</i> (Insect's ABC).
2007	52	Photo exhibition "Insects of the World" at Yukio Tabuchi Memorial Museum. First exhibition of original drawings for paper cutting art at Narnia (Kyobunkwan, Ginza). Received the 56th Shogakukan Award for Children's Literature for <i>The Old Fisherman who Smelt of Water</i> . Photo exhibition " <i>Satoyama: Beautiful Nature for the Future</i> " at Daimaru Museum Kyoto.
2008	53	Began photographing for the first "Japan's <i>Satoyama</i> ." The series continued for more than 15 years with his visits to over 200 <i>satoyamas</i> . NHK Hi-Vision Special <i>Satoyama Where Lives Are Born: Looking into Copses with Mitsuhiro Imamori</i> was broadcast. NHK Special <i>Satoyama: Forest and People, Lives in Harmony</i> was broadcast. Photo exhibition " <i>Satoyama: Beautiful Nature for the Future</i> " at Daimaru Museum Tokyo. Photo exhibition "Forest of God, Ise" at EPSITE (Shinjuku). Photo exhibition "Insects: On the move for 400 million years" at Tokyo Photographic Art Museum. Exhibition "Fun Kirigami" at Crayon House Tokyo shop. Exhibition "Mitsuhiro Imamori Kirigami Works" at Aoyama Book Center.
2009	54	Movie version of <i>Satoyama</i> was screened. Appointed as visiting professor at Seian University of Art and Design. Received the 28th Domon Ken Award for <i>Insects: On the move for 400 million years</i> . NHK Special <i>Satoyama: Forest and People, Resonating Lives</i> was broadcast. Photo exhibition "Insects: On the move for 400 million years" at Shizuoka Art Gallery. Became a judge for the Shinzo Maeda Award. Became a judge for the MIO Photo Grand Prize. Photo exhibition "The World of Insects" at Funabashi Andersen Park. Appeared in NHK Shumi-Yuyu "Mitsuhiro Imamori's Wonderful Kirigami."
2010	55	Photo exhibition " <i>Chikyu Ikimonogatari</i> " (story of lives on Earth) at Cannon S Tower. Received ExxonMobil Children's Culture Award. Photo exhibition "Beautiful Nature <i>Satoyama</i> for the Future" at Matsuzakaya Nagoya. Photo exhibition "Insects: On the move for 400 million years" at Daimaru Museum Kyoto. NHK General TV <i>Mitsuhiro Imamori Explores Japan's Satoyama</i> was broadcast. Photo exhibition "Japan's <i>Satoyama</i> " at Canon Gallery (Ginza, Umeda, and Nagoya). Photo exhibition " <i>Satoyama</i> " at Konica Minolta Plaza Gallery (Shinjuku). NHK BS Hi-Vision <i>Mitsuhiro Imamori Looks into Japan's Satoyama</i> series started. Became a judge for the Shogakukan Award for Children's Literature.
2011	56	Exhibition "Mitsuhiro Imamori's Kirigami Museum: Magic Scissors" at Nihonbashi Mitsukoshi Store. Exhibition "Mitsuhiro Imamori's Kirigami Museum: Magic Scissors" at Museum EKI Kyoto in Kyoto Isetan Store. Photo exhibition "Insects: On the move for 400 million years" at Kurashiki City Art Museum.
2012	57	Exhibition "Magic Scissors: Mitsuhiro Imamori's Kirigami Museum" at Fukuoka Mitsukoshi Store. Exhibition "Butterfly" and Photo exhibition " <i>Satoyama</i> " at Noevir Ginza.
2013	58	Photo exhibition " <i>Satoyama: Beautiful Nature for the Future</i> " at Fukui City Art Museum. Exhibition "The World of Mitsuhiro Imamori" at Kyushu Geibun-kan. Photograph exhibition "Insects: On the move for 400 million years" at Utsunomiya Museum of Art.

2014	59	Exhibition “The World of Mitsuhiro Imamori III: Kirigami Exhibition “Butterfly”” at Noevir Ginza. Applied as a farmer and acquired the farmland he longed for. He redeveloped the 3-ha unempt land and restored it as farmland. Since then, he has also been active as what he refers to an “environmental farmer” (the term was coined by Imamori).
2015	60	Commendation from the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology for Regional Cultural Merits Award. Received the Kyoto Shimbun Newspaper Grand Prize in Culture and Academics (2015). Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works” at Nihonbashi Mitsukoshi Store and Museum EKI Kyoto in Kyoto Isetan Store. Photo exhibition “Forest and Sea” Two-person exhibition with Ikuo Nakamura at Fujifilm Square.
2016	61	Photo exhibition “The Universe of the Forest and Sea” at Fujifilm Photo Salon Osaka. Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works” at Takasaki Museum of Art. Exhibition “Exploring Animal Island” at Noevir Ginza. Photo exhibition “ <i>Satoyama</i> ” at Seibu Otsu store. NHK BS Premium <i>Mitsuhiro Imamori’s Satoyama Life from Aurelian Garden</i> was broadcast. General incorporated association Meisui-no-Satoyama began <i>satoyama</i> restoration, and he became its supervisor.
2017	62	Photo exhibition “Letter from Lake Biwa, Gift from <i>Satoyama</i> ” at GALLERY A4. Exhibition “Insects in Paradise” at Noevir Ginza. Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works, Lives Born in the <i>Satoyama Atelier</i> ” at Kobe Fashion Museum.
2018	63	Canon Photo Collection exhibition “ <i>Chikyu Ikimonogatari</i> ” (story of lives on Earth) at Canon Open Gallery. Photo exhibition “ <i>Satoyama: A Journey in the Lake Biwa Water System</i> ” at Ricoh Imaging Square (Osaka and Shinjuku). NHK BS Premium “Mitsuhiro Imamori Aurelian Garden: Enjoying the Four Seasons in <i>Satoyama</i> ” was broadcast.
2019	64	Photography trip to New Caledonia. Photo exhibition “Aurelian Garden” at Nikon Plaza (Shinjuku and Osaka). Exhibition “Mitsuhiro Imamori: Story of <i>Satoyama</i> with Photography and Paper Cutting Art” at Matsuya Ginza. Exhibition “Mitsuhiro Imamori: The World of Paper Cutting Art” at Kijo Picture Book Village. Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works” at Takahashi City Nariwa Museum. Exhibition “Mitsuhiro Imamori: Aurelian Garden of the <i>Satoyama Atelier</i> ” at Kintetsu Department Store Main Store Abeno Harukas.
2020	65	Photo exhibition “Aurelian Garden” at Kijo Picture Book Village. NHK Wildlife “Exploring Lake Biwa with Mitsuhiro Imamori: a huge water system full of life” was broadcast.
2021	66	Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works” at Sakata City Museum of Art and Ken Doman Museum of Photography. Exhibition “Home of Water where Lives Circulate, Story of <i>Satoyama</i> with Photography and Paper Cutting Art” at Sagawa Art Museum. Exhibition “Aurelian Mitsuhiro Imamori Paper Cut Works” at Paramita Museum.
2022	67	Photo exhibition “Mitsuhiro Imamori’s Time” at JT Biohistory Research Hall. NHK Gardening for Pleasure, Creatures’ Paradise “Creating a Butterfly Paradise” was broadcast. NHK Wildlife “Nature Photographer Gazes into the Wild: Mitsuhiro Imamori—Everyone is kept alive by the circle of life” was broadcast.
2023	68	Photo exhibition “IMAMORI Mitsuhiro: <i>Satoyama</i> , where the water smells” at the Shiga Museum of Art. Photo exhibition “200th Anniversary of Jean-Henri Fabre’s Birth: Mitsuhiro Imamori’s World-wide Journey in Search of Insects” at Fujifilm Square.

## 作品リスト List of works

- 1 作品は展覧会の展示順に準じた。
- 2 本リストには、作品名 (和文)、作品名 (英文)、撮影年 (西暦)、サイズ (高さ×幅) を記載した。
- 3 特記していない作品は全てデジタル銀塩プリントである。特記は [ ] で記載した。
- 4 本リストの作品はNo.46《湖西にひろがる、広大なる棚田》を除き、展覧会「今森光彦 里山 水の匂いのするところ」(2023年7月8日—9月18日) の開催に際して、新規でプリントされた。

### Notes

1. The works are listed in the order at the exhibition.
2. This list shows the title in Japanese, title in English, year (CE), and size (height x width).
3. Unless otherwise specified, all works are gelatin silver prints. Special remarks are noted in [ ].
4. The listed works were newly printed for the exhibition "IMAMORI Mit-suhiko: *Satoyama, Where the water smells*" (July 8–September 18, 2023) except for *Vast terraced rice fields on the western side of the lake*.

## 0

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
1	琵琶湖の全景 Panorama view of Lake Biwa	2000	320×580

## 1 はじまりの場所 The Place of Beginning

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
2	溪流の朝 Morning at the mountain stream	1999	1000×1250
3	トチの古木 Ancient horse chestnut tree	2001	600×760
4	トチの実を拾う人 Gathering horse chestnuts	2002	1000×1250
5	峰々の夜明け Dawn on the peaks	2001	1000×1250
6	ミズキの花 Dogwood flowering in the valleys	1998	608×760
7	金緑色に輝くキリシマミドリシジミ <i>Chrysozephyrus ataxus</i> glowing in golden green	2001	580×387
8	源流のザゼンソウ Eastern skunk cabbage growing in headwater streams	1998	600×760
9	カモシカの骨 Antelope skull	1997	600×760
10	ビワマスの遡上 Upstream migration of Biwa Trout	2000	1000×1250
11	おしよらいさん Ancestral spirits	1998	600×760

## 2 萌木の国 The Grove Land

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
12	雑木林 Mixed woodland in a flat terrain	1992	1000×2500
13	やまおやじ "Yama Oyaji" (Old man of mountain)	1991	1000×1250
14	雑木林の中のヒキガエル Japanese common toad in the mixed woodland	1988	600×760
15	カタクリの咲く雑木林 Japanese dog-tooth violet flowering in a mixed woodland	1992	600×760
16	ノコギリクワガタと少年 Boy and sawtooth satg beetle	1990	600×760
17	秋の林床 Forest floor in autumn	1990	600×760
18	雪解けの雑木林 Spring thaw in a mixed woodland	1991	600×760
19	ケヤキ Japanese Zelkova	1989	1000×1250
20	ヨウシュヤマゴボウ Common pokeweed	1990	506×760
21	やまおやじの幹に根付いたタチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i> taking root on the trunk of Yama Oyaji	1989	580×460
22	アオキ Japanese laurel	1988	580×387
23	ダンコウバイ Japanese spicebush	1988	580×387
24	コナラ Jolcham oak	1987	580×387
25	オウレン Japanese goldthread	1987	580×387
26	カラスウリ Japanese snake gourd	1990	580×387
27	ヤブムラサキ <i>Callicarpa mollis</i>	1985	580×387
28	アケビ Chocolate Vine	1986	580×387
29	ヤマウルシの紅葉とオオカマキリの影 Autumn colors of poison oak and silhouette of praying mantis	1985	1000×1250
30	カタクリとギフチョウ Japanese dog-tooth violet and Japanese Luehdorfia	1992	1000×1250
31	ナルコユリにやってきたトラマルハナバチ <i>Bombus diversus</i> visiting a Japanese Solomon's seal	1989	1000×1250

### 3 光の田園 Fields of Lights

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
32	夏の日の午後 An afternoon on a summer's day	1985	1000×1250
33	早苗の頃の田んぼ Rice field at seedling season	1989	600×760
34	ハグロトンボとアマガエル <i>Calopteryx atrata</i> and tree frog	1988	600×760
35	真夏の田園 Countryside in midsummer	1983	600×760
36	比叡山の裾野に広がる田植えの頃の棚田 Stretches of terraced rice fields at the foot of Mt. Hiei in rice-planting season	1989	1120×3000
37	光る小川 Shimmering stream	1990	600×760
38	アマガエルとアジサイ Tree frog and hydrangea	1990	600×760
39	ゲンゴロウの蛹 Predaceous diving beetle pupa	1987	600×760
40	ツバメシジミとガクアジサイ Short-tailed blue and lacecap hydrangea	1985	600×760
41	土手のハルリンドウ <i>Gentiana thunbergii</i>	1989	600×760
42	巣に帰ってきたミツバチ Honey bee returning to hive	1988	1000×1250
43	朝焼けの棚田 Sunrise on terraced rice fields	1986	1000×1250
44	ヨツボシトンボの死 Death of a four-spotted chaser	1989	1000×1250
45	黄昏の田園 Countryside in twilight	1986	1000×1250
46	湖西にひろがる、広大なる棚田 [インクジェット・プリント] Vast terraced rice fields on the western side of lake	1989	1750×3800
47	雨の日の田んぼ A rainy day at a rice field	1988	1000×1250

## 4 湖辺の暮らし Lakeside Living

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
48	船着き場の朝 Morning at the boat landing place	2000	1000×1250
49	もんどりにかかったニゴロブナ Nigoro-buna caught in a mondori fishery	2002	387×580
50	ギンブナ Gin-buna	2002	427×580
51	朝もやと漁師 Morning haze and fisherman	2001	608×760
52	春の河口 River mouth in spring	2001	1000×1250
53	船着き場 Boat landing place	2000	500×1500
54	巣立ち前のトビ Fledging of Black kite	2000	507×760
55	野菜を洗う人 Person washing vegetables	1999	1000×1250
56	かばたの井戸 Well in Kabata	1998	456×580
57	生水川 Shozu River	1999	456×580
58	ダイコン干し Drying Daikon radish	1995	600×760
59	バイカモ <i>Ranunculus nipponicus</i>	1997	456×580
60	湧水が通る水路 Spring water streaming through waterway	2005	456×580
61	かばた Kabata	1998	600×760
62	神様へのお供え Offerings to God	2000	700×400
63	田神様の行事 Festivity celebrating the God of rice fields	2000	600×760
64	雪景色の中の神社 Winter scenery of a shrine	1992	1000×1250



## 5 くゆるヨシ原 Smoldering Reed bed

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
65	色づくヨシ Autumn colors of common reeds	1991	600×760
66	光るヨシ原 Gleaming reed bed	2001	1000×1250
67	朝焼けの比良山地 Sunrise at Hira	1997	1000×1250
68	真冬のヨシ原と竹生島 Reed bed and Chikubu Island in the deep of winter	1995	1000×1250
69	ヨシ原のタチヤナギ <i>Salix subfragilis</i> in a reed bed	1995	600×760
70	ヨシ刈り Harvesting reeds	1998	600×760
71	ヨシ職人の家 A reed craftsman's home	1993	600×760
72	雪の日の丸だて Thatched Marudate (a bundle of reed grass) on a snowy day	2001	600×760
73	冬のヨシ原 Reed bed in winter	1996	1000×1250
74	春が近い内湖 Spring approaches at Naiko	1998	1000×1250
75	ヨシ焼き Yoshi-yaki (Reed burning)	1998	600×760
76	ヨシの芽吹き Fresh common reed shoots	2001	427×580
77	水郷の春 Spring in lakeside	1996	1000×1250
78	群れ咲くノウルシ Clusters of <i>Euphorbia adenochlora</i> in flower	1999	600×760
79	春のタチヤナギ <i>Salix subfragilis</i> in spring	2000	600×760

## 6 還るところ A Place to Return to

作品番号	作品名	撮影年	サイズ (mm)
80	ユリカモメと琵琶湖 Black-headed gull and Lake Biwa	1998	600×760
81	オナガガモの群れ Flock of Northern pintails	2002	1000×1250
82	さざなみ Ripples	1992	600×760
83	降雪の日のハクセキレイ White wagtail in snowfall	2003	600×760
84	湖北の山並み Range of mountains on northern side of lake	2001	600×760
85	夏の琵琶湖 Summer at Lake Biwa	1996	600×760
86	砂浜のハマヒルガオ Shore bindweed in the shores	1992	600×760
87	湖岸に翅を休めるメガネサナエ <i>Stylurus oculatus</i> resting their wings at the lakeshore	1991	600×760
88	浜辺の貝殻 Shell on the shore	1994	600×760
89	朝焼けの安曇川河口 Ado river mouth in sunrise	1996	1000×1250
90	黄昏の竹生島 Chikubu island in twilight	1997	1000×1250
91	早朝の水鳥たち Waterfowl in early morning	1998	1000×1250
92	光る湖面 Sparkling lake surface	2001	427×580